

泥まみれでハッスルプレー

しんわどろリンピック

8月16日、小宮地地区の水田で「第4回しんわどろリンピック」が行われました。これは、小宮地地区振興会主催で毎年実施しているもの。当日は、真夏の日ざしが照りつける中、市内から28チーム168人が参加し、ミニバレーや綱引き、二人三脚リレーを行いました。イベントでは、泥水を終始気にしながら競技をする人や泥まみれになる快感を味わう人などが、珍プレー好プレーを繰り広げ会場は大にぎわい。このほか、地元の特産品などが当たるお楽しみ抽選会もありました。



▲泥まみれになりながらミニバレーをする参加者



▲ラムネの早飲み競争。誰が一番早いかな？

帰省客などで大にぎわい！

すもと夏祭り

8月13日、栖本福祉会館駐車場一帯で「すもと夏祭り」が行われ、家族連れや帰省客など約700人が訪れました。これは、栖本地区振興会が毎年開催しているもの。会場では、ストラックアウトなどのゲームやラムネ・ビールの早飲み競争、車エピのつかみ取りを実施。また、ダンスグループ“こうのすけ”や上天草市出身の歌手・MICAさんなどが軽快な踊りや美しい歌声を披露し、会場を盛り上げました。このほか、花火大会が行われ、訪れた人たちは、楽しい夏のひとときを過ごしました。

真夏のビーチを満喫！

さざ波フェスタ

7月19日、四郎ヶ浜ビーチなどリップルランド一帯で「さざ波フェスタ2009」が開催され、若者や家族連れなど約15,000人が夏のイベントを楽しみました。これは、同フェスタ実行委員会主催で今年で16回目。今回は、環境保護の意識を高めることを目的に、参加者によるビーチなどでの清掃活動を実施。その後、魚のつかみ取りやビーチフラッグがありました。このほか、有明町出身の演歌歌手・天草二郎さんの歌謡ショーや花火の打ち上げなどが行われ、会場は大いに盛り上がりました。



▲魚とったぞお〜!!



▲平和への祈りを捧げる参加者

小さな港から世界平和を祈る

教会の見える崎津みなとのフェスティバル

8月1日、「第21回教会の見える崎津みなとのフェスティバル」が崎津漁港広場一帯で開催されました。これは、同フェスティバル実行委員会主催で毎年実施。イベントでは、争いのない平和な世界への願いを込めて、参加者全員が祈りを捧げた後、餅投げや崎津ハイヤ踊り、富津小学校児童による和太鼓演奏などが行われました。また、暗くなりライトアップされた崎津教会の上空に、イベントのフィナーレとなる1,000発の花火が夜空に打ち上がり、訪れた約4,000人の観客を魅了しました。

宝島の夏、天草の夏。

—夏の思い出in天草2009—

今年の夏、皆さんは何をして過ごしましたか？

市内各地では、さまざまな楽しいイベントが開催され、多くの皆さんが夏の天草を満喫していました。皆さん、たくさんの思い出をつくられたことでしょう。

今回は、夏の天草で開かれた各種イベントのようすを紹介します。

うしぶかの海を満喫！

海の日フェスティバル海族祭・砂月海水浴場祭り・いさり火探検

牛深まちづくり活動会議主催の「第5回うしぶか海の日フェスティバル海族祭」と、天草宝島観光協会牛深支部主催の「砂月海水浴場祭り」・「第28回いさり火探検」が7月19日に同時開催されました。

うしぶか海彩館をメイン会場に開催された「海の日フェスティバル海族祭」では、船釣り大会や天草海上保安署の巡視艇「あそぎり」の体験乗船を実施。またステージでは、牛深高校郷土芸能部によるハイヤ踊りやミュージシャン・ピエントによる「月光ライブ」などのほか、きらびやかなドレスに身を包んだタレント・英太郎さんの「お笑いものまねショー」が行われ、訪れた人たちは幻想的な音楽やものまねなどを楽しみました。



▲ライブ演奏を熱心に聞き入る観客



▲会場を爆笑の渦に包み込むタレント・英太郎さん

牛深町の砂月海水浴場で開催された「砂月海水浴場祭り」には、海水浴客など約400人が参加。砂浜に立つ旗を走って奪い合う「ビーチフラッグ」や浮き輪を投げてスイカをねらうゲームなどを楽しみました。また、網で仕切った海の中で行われたタコのつかみ取りでは、参加した子どもたちがヌルヌルとしたタコを歓声を上げながらつかまえていました。



▲タコをつかまえる子どもたち

夜には、暗がりには浮かび上がる集魚灯の幻想的な雰囲気と、取れたての魚を堪能できる「第28回いさり火探検」を実施。参加者約200人を乗せたフェリーは、漁場を目ざし牛深港を出港。集魚灯でおびき寄せられた魚を一網打尽にする「棒受網漁」を見学しました。また、参加者は船上で、漁でとれたばかりの新鮮な魚のバーベキューを食べながら、牛深ハイヤ保存会による牛深ハイヤ踊りを楽しんでいました。



▲集魚灯の幻想的な明かりに見入る参加者